科学研究費助成事業 研究成果報告書



平成 30 年 6 月 18 日現在

機関番号: 15501

研究種目: 基盤研究(C)(一般)

研究期間: 2014~2017

課題番号: 26330254

研究課題名(和文)マルチモーダルインタフェースを備えた知能発達型知的システムとその応用

研究課題名(英文) An Intelligent System with Multi-Modal Interface and Intelligence Development Functions and Its Applications

研究代表者

呉本 尭 (Kuremoto, Takashi)

山口大学・大学院創成科学研究科・助教

研究者番号:40294657

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 3,700,000円

研究成果の概要(和文):優れた知性、高い自律性と意思疎通能力を持つパートナーロボットを実現するため、本研究では、「マルチモーダルインタフェースを備えた知能発達型知的システム」が提案・開発された。具体的には、ニューラルネットワーク、ファジィ、進化的計算、強化学習を中心とする「ソフトコンピューティング技術」を用いて、情報分類、記憶想起、推論と予測、適応行動などの知的計算機能モジュールが設計・開発された。特に、「視覚、聴覚、脳波」など多種の計測情報を扱うマルチモーダルインタフェースを設計し、人間である相手の指令、意思をより正確に推測でき、適切な行動を出力するパートナーロボットに応用可能な知的システムが提案された。

研究成果の概要(英文): To develop the future partner robot which has high intelligence, autonomy, ability of communication with human being, an intelligent system with multi-modal interfaces and development ability is proposed and developed in this study. In detail, artificial neural networks, fuzzy inference, evolutionary calculation, reinforcement learning, etc, which belong to the field of "softcomputing" were utilized to design and develop multiple intelligent function modules such as pattern classification, association memory, forecasting, adaptive behavior acquisition, and so on. Specially, multi-modal interfaces including visual information, auditory information, and brain wave (EEG) were used to estimate the meaning or instruction of the human being and output appropriate actions. The proposed intelligent system is expected to be applied to the partner robots such as pet robots, communication robots, and so on.

研究分野: ソフトコンピューティング

キーワード: ニューラルネットワーク 強化学習 パターン認識 ファジィ 深層学習 インテリジェントシステム ソフトコンピューティング マルチモーダルインタフェース

1.研究開始当初の背景

日常生活の場面で活躍できる高度な知的能 力を持つロボットは依然開発途中である。最 も困難な課題は、複雑で動的環境における状 熊認知と適応行動を実現する「認知行動シス テム」の設計や、人間を相手にする場合の知 能レベルの向上なとが挙げられる(土井ら 2006; 藤田&下村 2008)。 従来の作り込み型の システムには限界があり、近年、環境に適応 し学習能力の高い新たな知的システムが提案 されている。例えば、

- (i) 小脳の計算的モデルである「多重順逆対モ デル」MOSAIC (川人 1994);
- (ii) 再帰的ニューラルネットワークを用いた 力学系に基づく認知行動モデル RNNPB(谷 2003);
- (iii) 動機と自己探索を含む自律行動の獲得モ デル MINDY (ソニー 2003);
- (iv) 入出力パターンを生成するミラーニュー ロンの計算的モデル Mimesis (稲邑ら 2004);
- (v) 抽象的シンボルを創発的に生成し、記号接 地問題を解決する記号創発ロボティクス(谷 \Box 2005):
- (vi) 認知科学、脳科学とロボティクスの融合 による動的知能――インテリジェンス・ダイ ナミクス (土井ら 2005);
- (vii) ロボットの身体と環境の相互作用による 認知発達ロボティクス(浅田&國吉 2006)な どが挙げられる。

また、研究代表者・分担者らは、記憶・学習・ 感情などの脳の高次機能を実現するいくつか の計算モデルを提案している(詳細略)

2.研究の目的

人間とロボットが共存する社会における優れ た知性、高い自律性と意思疎通能力を持つ第三 次産業用ロボットを実現するため、本研究では、 「マルチモーダルインタフェースを備えた知能 発達型知的システム」を提案・開発する。特に、 「視覚、聴覚、脳波」など多種の計測情報を扱

うマルチモーダルインタフェースを設計し、人間 である相手の指令、意思をより正確に推測でき、 知性を持つ、適切な行動を出力するパートナーロ ボットに応用できる知的システムを開発する。

3.研究の方法

「ニューラルネットワーク、ファジィ、進化的 計算、強化学習を中心とするソフトコンピューテ ィング技術」を用いて、情報分類、記憶想起、推 論と予測、適応行動などの複数の知覚情報処理と 知的計算機能モジュールを設計・開発し、パート ナーロボットの知的振る舞いを実現する知能発達 型知的システム(図1)を構築する。

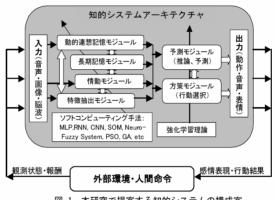


図 1 本研究で提案する知的システムの構成案

4. 研究成果

本研究で提案される知的システムを構築するこ とに向けて、マルチモーダルインタフェースによ る多種のセンサーによる入力情報に対するパター ン認識機能、内部の記憶機能、情動・感情機能、 予測機能、行動決定・学習機能、出力制御機能な ど多くの高次機能モジュールが開発された。具体 的には、以下の研究成果が挙げられる。

(1)画像情報の自動分類

コホーネンの自己組織化マップ(SOM)を改良し、 ユーザの手の様々な形をロボットに示すことより、 指令を与えることが実現した。改良モデルの学習 性能は従来の SOM や成長型自己組織化マップ (GSOM)より優れる(雑誌論文:4,21; 学会発表: 2, 32, 33)

(2) 音声情報の自動分類

改良自己組織化マップ(SOM)を更に修正し、最 先端のパラメータ探索手法を導入することより、

従来の改良 SOM を用いた音声命令学習システムの性能を改善することができた。(学会発表: 12,43)

(3)脳波のパターン認識によるメンタルタスクの認知

脳波の特徴抽出の改良を中心に、脳波信号のパターン認識やメンタルタスクの識別手法を多数提案した。例えば、ROC(receiver operating characteristic)分析、畳み込みニューラルネットワークなどの特徴抽出法を提案し、サポートベクトルマシンや、多層パーセプトロン、決定木などの識別器による脳波識別法を提案した。

(雑誌論文:2,8; 学会発表:16,24,29)

(4) 高次元データの自動分類

高次元データに対する一般的な分類手法として、進化的計算や多層自己符号化器などを提案した。(雑誌論文:1,6;学会発表:1,9)

また、分散データベースに対するアクセスの 効率向上につきましても、遺伝ネットワークプ ログラミングやファジィ推論などより、有効な 管理方式を提案した。(雑誌論文:13,14;学会 発表:18,20,25,34)

(5)長期記憶・連想記憶の実現

多層カオスニューラルネットワーク(MCNN) や自己組織化マップ(SOM)を用いた時系列データ(画像、動画など)の記憶(記銘)・想起(連想)を実現した。(雑誌論文:9,18; 学会発表:30)

また、強化学習とマッチングネットワークを 併用し、Long-Short Term Memory (LSTM)機能を 実現し、記憶効率の向上を図った。(学会発表: 10 (国際会議 ICIARE2016 最優秀論文賞))

(6)情動・感情の形成及び適応行動学習への 促進

状態の遷移を確率的マトリクスで表現するマルコフ情動モデルと多層パーセプトロン(MLP) や自己組織化マップ(SOM)の併用より、自律ロボットの適応行動学習システムを提案した。(雑誌論文:15; 学会発表:19,31)

(7)予測方法の提案

過去の時系列データの特徴をモデリングし、未来の値を予測することは知的能力を持つことに当たる。本研究では、研究代表者らのこれまでの深層学習による時系列予測手法を修正し、カオス時系列データや、ベンチマークデータ、また、太陽黒点数や大気中の二酸化炭素の濃度、海面気圧などの実データを用いた予測実験の結果より、新たに提案した強化学習を用いたディープビリーフネット(DBN)の有効性が確認された。

(雑誌発表:5,20; 学会発表:6,8,11,23,26(国際会議 2015 ICCAT Outstanding Paper Award), 36,41)

(8)行動の決定及び学習法の提案

環境に適する行動を学習、または選択して決定 することは知的システムの出力に当たる。本研究 では、知能発達型知的システムを構築することを 提案しているが、その「知能発達型」の意味は、 予めすべての環境状態を想定し、それぞれの状態 に対応する適切な行動を出力するのではなく、確 率的出力や、状態遷移による正または負の報酬を 利用し、状態の認知や、記憶、行動の学習、未来 の予測などの知的能力を養っていくシステムを設 計することを指す。本研究では提案された行動の 制御、学習、または決定手法は強化学習、進化的 計算、ファジィニューラルネットワーク、情動モ デル、小脳モデルなどの技術が活用された。(雑誌 論文:10,11,12,16,17,19; 学会発表:4,5,13,14, 21, 22 (国際会議 ICAROB 2015 最優秀論文賞), 22, 27, 28, 31, 35, 37, 38, 39, 42, 44)

(9)その他

アテンションモデルとリカレントニューラルネットワークを併用した文章要約手法を提案した。 (学会発表:3)

システムに異常進入や、衛星画像の災害解析に 関する方式につきましては、深層学習や One-class SVM を併用した手法を提案した。(雑誌論文:7; 学会発表:2)

以上、本課題の主な研究成果を研究代表者、研究分担者らが発表した論文の基にまとめた。

< 引用文献 >

- 土井,藤田,下村【編】: インテリジェンスダイナ ミクス2. 身体を持つ知能—脳科学とロボティクス の共進化—, Springer/Japan (2006)
- 2) 藤田,下村【編】:インテリジェンスダイナミクス3. 発達する知能—知能を形作る相互作用—, Springer/Japan (2008)
- 3) 銅谷, 五味, 阪口, 川人【編】: 脳の計算機構—ボトムアップ・トップダウンのダイナミクス, 朝倉書店 (2005)
- 4) 浅田,國吉: ロボットインテリジェンス, 岩波書店 (2006)
- Kawato M., Samejima K.: Efficient reinforcement learning: computational theories, neuroscience and robotics, Current Opinion in Neurobiology, Vol.17, pp.205-212 (2007)
- 6) 松本, 市川: 脳を創る, 日本神経回路学会誌, Vol.5, No.3, pp.110-115 (1998)

5 . 主な発表論文等 (研究代表者、研究分担者及び連携研究者には 下線)

〔雑誌論文〕(計 21 件)全て査読有

- 1. <u>Mabu S.</u>, Kobayashi K., <u>Obayashi M.</u> and <u>Kuremoto T.</u>: Unsupervised image classification using multi-autoencoder and K-means++, Journal of Robotics, Networking and Artificial Life, Vol. 5, No.1, pp.75-78, 2018
- Kuremoto T., Baba, Y., <u>Obayashi M., Mabu S.,</u> <u>Kobayashi K.</u>: Enhancing EEG signals recognition using ROC curve, Journal of Robotics, Networking and Artificial Life, Vol. 4, No.4, pp.283-286, 2018
- 3. Hirata T., <u>Kuremoto T.</u>, <u>Obayashi M.</u>, <u>Mabu S.</u>, <u>Kobayashi, K.</u>: Forecasting real time series data using deep belief net and reinforcement learning, Journal of Robotics, Networking and Artificial Life, Vol. 4, No.4, pp.260-264, 2018
- 4. <u>Kuremoto T.</u>, Kuzukami Y., <u>Obayashi M.</u>, <u>Mabu S.</u>, <u>Kobayashi K.</u>: A hand shape instruction recognition and learning system using growing SOM with asymmetric neighborhood function, *Neurocomputing*, Vol.188, pp.31-41, 2016
- 5. 平田貴臣, <u>呉本尭</u>, <u>大林正直</u>, <u>間普真吾</u>, <u>小林邦和</u>: 深層学習と線形モデルを併用した時系列予測手法, 電気学会論文誌 C, Vol.136, No.3, pp.348-356, 2016
- 6. Mabu S., Obayashi M., Kuremoto T.: An Evolutionary Algorithm for Making Decision Graphs for Classification Problems, Journal of Robotics, Networking and Artificial Life, Vol. 3, No.1, pp.45-49, 2016
- 7. Mabu S., Gotoh S., Obayashi M., Kuremoto T.: A random-forests-based classifier using class association rules and its application to an intrusion detection system, Artificial Life and Robotics, Vol.21, pp.371-377, 2016
- 8. Obayashi M., Geshi T., Kuremoto T., Mabu S.: An Optimization of Spatio-Spectral Filter Bank Design for EEG Classification, Journal of Robotics, Networking and Artificial Life, Vol. 4, No.2, pp.217-220, 2016

- 9.渡邊駿 <u>呉本尭 小林邦和 間普真吾 大林正直</u>: MCNN と SOM を用いた動画像の記銘と動的想起, 電気学会論 文誌 C, Vol.135, No.4, pp. 414-422, 2015
- Mabu S., Obayashi M., Kuremoto T.: Ensemble learning of rule-based evolutionary algorithm using multi-layer perceptron for supporting decisions in stock trading problems, Applied Soft Computing, Vol.36, pp.357-367, 2015
- 11. <u>Kuremoto T.</u>, Morisaki K., <u>Kobayashi K.</u>, <u>Mabu S.</u>, <u>Obayashi M.</u>: Elman Type Recurrent Neural Nework with Parametric Bias and its Application to Multi-Action Learning of Robot, *ICIC Express Letters Part B: Applications -- An International Journal of Research and Surveys*, 6(9), pp.2361-2369, 2015
- 12. <u>Mabu S., Obayashi M., Kuremoto T.</u>: Reinforcement Learning with Symbiotic Relationship for Multiagent Environments, *Journal of Robotics, Networks, and Artificial Life*, Vol.2, No.1, pp.40-45, 2015
- Wedashwara W., <u>Mabu S.</u>, <u>Obayashi M.</u>, <u>Kuremoto T.</u>:
 On-line Rule Updating System Using Evolutionary
 Computation for Managing Distributed Database, *Journal of Robotics, Networks, and Artificial Life*, Vol.2, No.2, pp.73-78, 2015
- 14. Wedashwara W., <u>Mabu S., Obayashi M., Kuremoto T.</u>: Combination of genetic network programming and knapsack problem to support record clustering on distributed databases, *Expert Systems With Applications*, 46, pp.15-23, 2015
- 15. 綿田将悟, <u>大林正直</u>, <u>呉本尭</u>, <u>小林邦和</u>, <u>間普真吾</u>: マルコフ情動モデルを備えたロボットの行動決定法, *電気学会論文誌 C*, Vol.134, No.1, pp.85-93, 2014
- 16. <u>Mabu S.</u>, Hirasawa K., <u>Obayashi M.</u>, <u>Kuremoto T.</u>: A Variable Size Mechanism of Distributed Graph Programs and Its Performance Evaluation in Agent Control Problems, *Expert Systems with Applications*, 41(4), pp.1663-1671, 2014
- 17. Watada S., <u>Obayashi M.</u>, <u>Kuremoto T.</u>, <u>Mabu S.</u>, <u>Kobayashi K.</u>: A Decision Making System of Robots Introducting a Re-construction of Emotions Based on Their Own Experience, *Journal of Robotics, Networks, and Artificial Life*, Vol. 1, No.1, pp. 27-32, 2014
- 18. Watanabe S., <u>Kuremoto T.</u>, <u>Mabu S.</u>, <u>Obayashi M.</u>, <u>Kobayashi K.</u>: The Recollection Characteristics of Generalized MCNN Using Different Control Methods, *Journal of Robotics, Networks, and Artificial Life*, 1(1), pp.73-79, 2014
- 19. 内山祥吾, <u>大林正直</u>, <u>呉本尭</u>, <u>小林邦和</u>: 自己融合小脳パーセプトロン改良モデル利用型制御システムとその合意問題への応用, *電気学会論文誌 C*, Vol.134, No.7, pp. 990-998, 2014
- 20. <u>Kuremoto T.</u>, Kimura S., <u>Kobayashi K.</u>, <u>Obayashi</u>

 <u>M.</u>: Time Series Forecasting Using a Deep Belief Network with Restricted Boltzmann

 Marking Newspapers 127(5), pp. 47-56 (2014)
- Machines, Neurocomputing, 137(5), pp.47-56, 2014
- 21. <u>Kuremoto T.</u>, Otani T., <u>Mabu S.</u>, <u>Obayashi M.</u>, <u>Kobayashi K.</u>: One-D-R-A-G-SOM and its Application to a Hand Shape Instruction Learning System, *International Journal of Networked and Distributed Computing*, 2(3), pp.166-174, 2014

[学会発表](計 44 件)全て査読有

- Mabu S., Kobayashi K., <u>Obayashi M., Kuremoto T.</u>: Unsupervised Image Classification Using Multi-Autoencoder and K-means++, *ICAROB* 2018, pp.112-115, 2018
- Fujita K., <u>Mabu S.</u>, <u>Obayashi M.</u>, <u>Kuremoto T.</u>:
 Anomaly Dectection of Disaster Areas from Satellite
 Images Using Convolutional Autoencoder and One-class
 SVM, *ICAROB 2018*, pp.116-119, 2018
- 3. <u>Kuremoto T.</u>, Tsuruda T., <u>Obayashi M.</u>, <u>Mabu S.</u>: A Sentence Summarizer using Recurrent Neural Network and Attention-Based Encoder, *AMMS 2017*, pp.245-248, 2017
- 4. <u>Kuremoto T.</u>, Matsusaka H., <u>Obayashi M.</u>, <u>Mabu S.</u>, <u>Kobayashi K.</u>: A Reinforcement Learning System with Multi-Layered Fuzzy Neural Network, *ICISIP2017*, pp. 444-449, 2017
- Obayashi M., Aridome T., <u>Kuremoto T.</u>, Mabu S.: Leader-Follower Adaptive Formation Control without Observation of Agent's Velocity Using Wavelet Neural Network, *ICMLC 2017*, C083, pp.1-8, 2017
- Kuremoto T., Tokuda S., <u>Obayashi M., Mabu S.,</u> <u>Kobayashi K.</u>: An experimental comparison of deep belief nets with different learning methods, *NCSP 2017*, pp. 637-640, 2017
- Kuremoto T., Baba Y., <u>Obayashi M., Mabu S.,</u> <u>Kobayashi K.</u>: A Method of Feature Extraction for EEG Signals Recognition Using ROC Curve, *ICAROB 2017*, pp.654-657, 2017
- 8. Hirata T., <u>Kuremoto T., Obayashi M., Mabu S.</u>:
 Forecasting Real Time Series Data using Deep Belief Net and Reinforcement Learning, *ICAROB 2017*, pp.658-661, 2017
- Azakami K., <u>Mabu S.</u>, <u>Obayashi M.</u>, <u>Kuremoto T.</u>: A Rule-Based Classification System Enhanced by Multi-Objective Genetic Algorithm, *ICAROB 2017*, pp.650-653, 2017
- Cannon R. N., <u>Kuremoto T.</u>, <u>Obayashi M.</u>, <u>Mabu S.</u>: Learning Embedding Function for Instance-based Reinforcement Learning with Matching Networks, *ICIARE 2016*, pp. 155-158, 2016
- Hirata T., <u>Kuremoto T.</u>, <u>Obayashi M.</u>, <u>Mabu S.</u>, <u>Kobayashi K.</u>: Deep Belief Network using Reinforcement Learning and its Applications to Time Series Forecasting, *Lecture Notes in Computer Science*, Vol. 9949, pp. 30-37, 2016
- 12. <u>Kuremoto T.</u>, Kuzukami Y., <u>Obayashi M.</u>, <u>Kobayashi M.</u>, <u>Mabu S.</u>: RP-AG-SOM: A Growing Self-Organizing Map with Assymetric Neighborhood Function and Variable Radius, *Lecture Notes in Networks and Systems*, Vol. 15, pp. 404-418, 2016
- 13. <u>Obayashi M.</u>, Aridome T., <u>Kuremoto T.</u>, M<u>abu S.</u>: Leader-Follower Formation Control Using Cerebellar Perceptron Improved Model with Auto-Structuring, 2016 CSE, pp. 423-431, 2016
- 14. <u>Kuremoto T.</u>, Tsubaki K., <u>Obayashi M.</u>, <u>Mabu S.</u>, <u>Kobayashi K.</u>: A Neuro-Fuzzy Reinforcement Learning System for Autonomous Robot Dealing with Continuous Space, NCSP'16, pp. 258-261, 2016

- 15. <u>Mabu S.</u>, <u>Obayashi M.</u>, <u>Kuremoto T.</u>: An Evolutionary Algorithm for Making Decision Graphs for Classification Problems, *ICAROB 2016*, pp.458-462, 2016
- 16. <u>Obayashi M.</u>, Geshi T., <u>Kuremoto T.</u>, M<u>abu S.</u>: An Optimization of Spatio-Spectral Filter Bank Design for EEG Classification, *ICAROB 2016*, pp.397-400, 2016
- 17. Watada S., <u>Obayashi M.</u>, <u>Kuremoto T.</u>, <u>Mabu S.</u>: Efficient Reinforcement Learning Using an Adaptive Control of Meta-parameters Based on a Markov Emotional Model, *AROB 21st 2016*, pp. 14-19, 2016
- 18. Wedashwara W., <u>Mabu S.</u>, <u>Obayashi M.</u>, <u>Kuremoto T.</u>: Evolutionary Rule Based Clustering with Fuzzy Feature Selection for High Dimensional Database, *AROB 21st 2016*, pp. 42-47, 2016
- Gotoh S., <u>Mabu S.</u>, <u>Obayashi M.</u>, <u>Kuremoto T.</u>: An Intrusion Detection System Using Random Forests Based on Class Association Rules, *AROB 21st 2016*, pp. 148-153, 2016
- 20. I Wedashwara W., <u>Mabu S.</u>, <u>Obayashi M.</u>, <u>Kuremoto T.</u>: Online Rule Updating System Using Evolutionary Computation for Managing Distributed Database, *ICAROB* 2015, pp.98-101, 2015
- 21. <u>Mabu S., Obayashi M., Kuremoto T.</u>: Reinforcement Learning with Symbiotic Relationships for Multiagent Environments, *ICAROB 2015*, pp.102-106, 2015
- 22. <u>Obayashi M.</u>, Shinkawa K., <u>Kuremoto T.</u>, <u>Mabu S.</u>, <u>Kobayashi K.</u>: Leader-Follower Formation Control with an Adaptive Linear and Terminal Sliding Mode Combined Controller Using Auto-Structuring Fuzzy Neural Network, *Cognitive 2015*, pp.130-136, 2015
- 23. <u>Kuremoto T.</u>, Ko K., <u>Obayashi M.</u>, <u>Mabu S.</u>, <u>Kobayashi K.</u>: Neural Networks using Reinforcement Learning and their Applications to Time Series

 Forecasting, *WSEAS/ASME'15*, pp. 69-74, 2015
- 24. <u>Kuremoto T.</u>, Baba Y., <u>Obayashi M.</u>, <u>Mabu S.</u>, <u>Kobayashi K.</u>: To Extraction the Feature of EEG Signals for Mental Task Recognition. *CCC-SICE2015*, pp.353-358, 2015
- Wedashwara W., <u>Mabu S., Obayashi M., Kuremoto T.</u>: Evolutionary Rule Based Clustering for Making Fuzzy Object Oriented Database Models, *IIAI AAI 2015*, pp.517-522, July 12-16, 2015
- 26. Hirata T., <u>Kuremoto T.</u>, <u>Obayashi M.</u>, <u>Mabu S.</u>, <u>Kobayashi K.</u>: Time Series Prediction using DBN and ARIMA, *2015 ICCAT*, pp. 24-29, 2015
- 27. <u>Obayashi M.</u>, Uto S., <u>Kuremoto T.</u>, <u>Mabu S.</u>, <u>Kobayashi K.</u>: An Extended Q Learning System with Emotion State to Make Up an Agent with Individuality, *IJCCI 2015*, pp. 70-78, 2015
- 28. <u>Obayashi M.</u>, Yamane T., <u>Kuremoto T.</u>, <u>Mabu S.</u>, <u>Kobayashi K.</u>: An Autonomous Mobile Robot with Functions of Action Learning, Memorizing, Recall and Identifying the Environment Using Gaussian Mixture Model, *Lecture Note in Computer Science*, Vol. 9489, pp. 272-282, 2015
- 29. <u>Kuremoto T.</u>, Baba Y., <u>Obayashi M.</u>, <u>Mabu S.</u>, <u>Kobayashi K.</u>: A Method of Feature Extraction for EEG Signal Recognition, *ICIARE2015*, pp. 67-69, 2015
- 30. Watanabe S., <u>Kuremoto T., Kobayashi K., Mabu S.</u>, and <u>Obayashi M.</u>: The Recollection Characteristics of

- Generalized MCNN Using Different Control Methods, ICAROB 2014
- 31. Watada S., <u>Obayashi M.</u>, <u>Kuremoto T., Kobayashi K.</u>: Decision Making System of Robots Introducing a Reconstruction of Emotions Based on Their Own Experiences, *ICAROB 2014*
- 32. <u>Kuremoto T.</u>, Otani T., <u>Obayashi M.</u>, <u>Kobayashi K.</u>, <u>Mabu S.</u>: One Dimensional Ring Type Growing SOM with Asymmetric Neighborhood Function and its Application to a Hand Shape Instruction Learning System, *SNPD 2014*, 2014
- 33. <u>Kuremoto T.</u>, Otani T., <u>Obayashi M.</u>, <u>Kobayashi K.</u>, <u>Mabu S.</u>: A Hand Shape Instruction Recognition and Learning System usign Growing SOM with Asymmetric Neighborhood Function, in *Lecture Note in Computer Science*, Vol. 8588, pp. 269-276, 2014
- 34. Wedashwara W., Mabu S., Obayashi M., Kuremoto T.: Implementation of Genetic Network Programming and Knapsack Problem for Record Clustering on Distributed Database, *SICE 2014*, pp.935-940, 2014
- 35. <u>Kuremoto T.</u>, Morisaki K., <u>Kobayashi K.</u>, <u>Mabu.</u>, <u>Obayashi M.</u>: A Modified Recurrent Neural Network with Parametric Bias and its Application to Action Learning of a Humanoid Robot, *ICISIP 2014*, pp.414-418, 2014
- 36. <u>Kuremoto T.</u>, Hirata T., <u>Obayashi M.</u>, <u>Mabu S.</u>, <u>Kobayashi K.</u>: Forecast Chaotic Time Series Data by DBNs, *CISP '14-BMEI'14*, pp.1304-1309, 2014
- 37. <u>Kuremoto T., Obayashi M., Kobayashi K., Mabu S.</u>: How an Adaptive Learning Rate Benefits
 Neuro-Fuzzy Reinforcement Learning
 Systems, *Lecture Note in Computer Science*, Vol. 8794,
 pp. 324-331, 2014
- 38. Aridome T., <u>Obayashi M., Kuremoto T., Mabu S.</u>: A Tracking Control Method for A Two-Wheeled Robot Using Wavelet Neural Network-based Sliding Mode Control. In The *ICIARE 2014*, pp. 30-33, 2014
- 39. Gotoh S., <u>Mabu S.</u>, <u>Obayashi M.</u>, <u>Kuremoto T.</u>: A Study on Effective Structural Evolution of Genetic Network Programming for Improving Generalization Performance. *ICIARE 2014*, pp. 39-42, 2014
- 40. Hikino W., <u>Obayashi M., Kuremoto T., Mabu S.</u>: An Odor Recognition System in Real Environments Using KIII Olfactory Function Model. *ICIARE 2014*, pp. 43-46, 2014
- 41. Hirata, T., <u>Kuremoto, T., Obayashi, M., Kobayashi, K., Mabu, S.</u>: Time Series Prediction using DBN and ARIMA. In The *ICIARE 2014*, pp.54-57, 2014
- 42. <u>Kuremoto T., Obayashi M., Kobayashi K., Mabu S.</u>: A Reinforcement Learning System with Neuro-Fuzzy Network and its Applications. *ICIARE* 2014, pp. 68-71, 2014
- 43. <u>Kuremoto T.</u>, Kuzukami Y., <u>Obayashi M., Kobayashi K.</u>, <u>Mabu S.</u>: A Voice Instruction Learning System using GSOM with Asymmetric Neighborhood Function. *ICIARE 2014*, pp.72-75, 2014
- 44. <u>Mabu S., Obayashi M., Kuremoto T.</u>: Ensemble Learning of Rule-based Evolutionary Algorithm Using Multi Layer Perceptron for Stock Trading Models. *SCIS & ISIS 2014*, pp. 624-629, 2014

[図書](計 0 件)

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

取得状況(計 0 件)

〔その他〕 受賞(計4件)

- International Conference on Innovative Application of Research and Education 2016, Dec. 22-25, 2016, Chungbuk, Korea, Best Paper Award: "Learning Embedding Function for Instance-based Reinforcement Learning with Matching Networks", N. R. Cannon, <u>T.</u> Kuremoto, M. Obayashi, S. Mabu
- International Conference on Computer Application Technologies 2015, Aug. 31-Sep.1, 2015, Matsue, Japan, Outstanding Paper Award: "Time Series Prediction using DBN and ARIMA", T. Hirata, <u>T. Kuremoto</u>, <u>M. Obayashi</u>, <u>S. Mabu</u>, K. Kobayashi
- International Conference on Artificial Life and Robotics 2015, Jan. 10-12, Oita, Japan, Best Paper Award: "Reinforcement Learning with Symbiotic Relationships for Multiagent Environments", <u>S. Mabu, M. Obayashi, T. Kuremoto</u>
- International Conference on Innovative Application Research and Education 2015, Dec. 1-3, 2015, Chongbuk Univ., Korea, Best Paper Award: "A study on effective structural evolution of genetic network programming for improving generalization performance", S. Gotoh, <u>S.</u> <u>Mabu, M. Obayashi, T. Kuremoto</u>

ホームページ等

http://www.nn.csse.yamaguchi-u.ac.jp/home/wu/

- 6. 研究組織
- (1)研究代表者

呉本 尭 (KUREMOTO Takashi) 山口大学・大学院創成科学研究科・助教 研究者番号:40294657

(2)研究分担者

大林 正直(OBAYASHI Masanao) 山口大学・大学院創成科学研究科・教授 研究者番号: 60213849

小林 邦和 (KOBAYASHI Kunikazu) 愛知県立大学・情報科学部・教授 研究者番号: 40263793

間普 真吾 (MABU Shingo) 山口大学・大学院創成科学研究科・准教授 研究者番号: 70434321